

**2017年度(2018年3月期)
第1四半期決算説明会**

2017年7月26日

株式会社アドバンテスト

ご注意

◆会計基準について

本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。

◆将来の見通しに関する記述について

本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

ADVANTEST.

2017年度第1四半期 決算報告

常務執行役員

藤田 敦司

業績概要

	(億円)									
	2016年度				2017年度		前期比		前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	増減額	増減率	増減額	増減率	
受注高	438	285	440	484	494	+10	+2.0%	+56	+12.8%	
売上高	407	355	314	483	407	-76	-15.8%	+0	+0.1%	
売上総利益	253	210	181	253	206	-48	-18.8%	-47	-18.6%	
売上総利益率	62.2%	59.3%	57.6%	52.4%	50.6%	-1.8pts		-11.6pts		
営業利益	57	26	10	46	22	-24	-51.8%	-35	-61.2%	
営業利益率	14.1%	7.3%	3.1%	9.5%	5.5%	-4.0pts		-8.6pts		
税引前四半期利益	62	29	6	53	16	-37	-70.3%	-46	-74.6%	
四半期利益	50	23	1	68	10	-58	-85.5%	-40	-80.1%	
四半期利益率	12.2%	6.4%	0.4%	14.1%	2.4%	-11.7pts		-9.8pts		
受注残	365	295	422	422	509	+87	+20.6%	+143	+39.2%	
為替レート	1米ドル	111円	104円	105円	115円	112円	3円 円高	1円 円安		
	1ユーロ	124円	116円	115円	122円	121円	1円 円高	3円 円高		

ADVANTEST.

2017/7/26

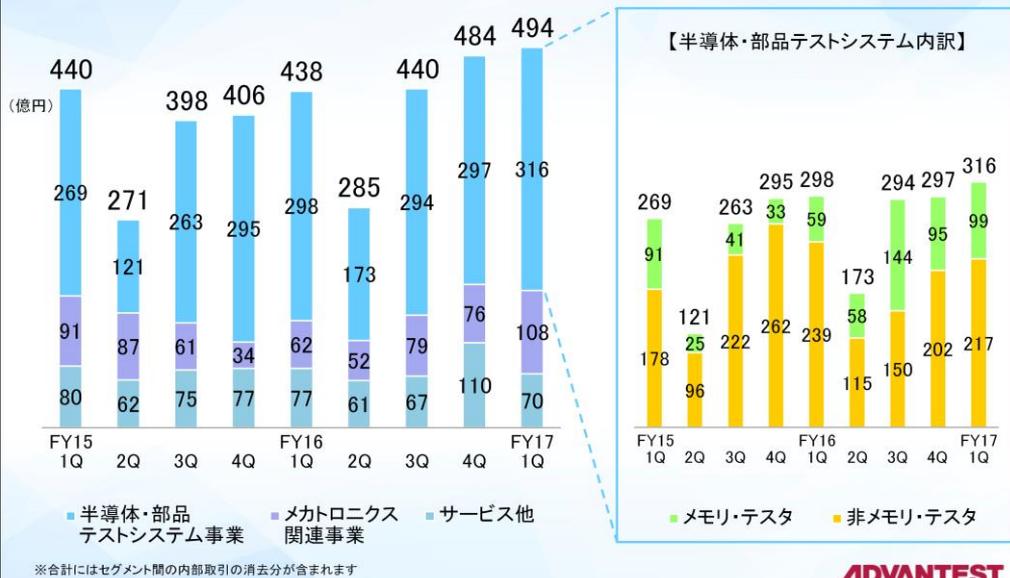
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

4

○ 2017年度第1四半期の業績概要

- 受注高 494億円 前期比 2.0%増で 10億円増加
- 売上高 407億円 前期比 15.8%減で 76億円減少
- 売上総利益 206億円 前期比 18.8%減で 48億円減少
- 営業利益 22億円 前期比 51.8%減で 24億円減少
- 税引前四半期利益 16億円 前期比 70.3%減で 37億円減少
- 四半期利益 10億円 前期比 85.5%減で 58億円減少
- 受注残は509億円、2Q以降の売上げ増へ弾み
- 売上は前年同期並み、売上総利益以下については前期比、前年同期比ともマイナスだった。ただこれらは、期初の見通しに沿った進捗

四半期受注高 事業セグメント別



2017/7/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

5

ADVANTEST.

○ 2017年度第1四半期のセグメント別受注高

○ 半導体・部品テストシステム事業

- ・ 前期比 6%増 316億円
うち非メモリ・テスト 217億円
メモリ・テスト 99億円

- ・ 非メモリ・テストは、中国スマートフォンの在庫調整の兼ね合いで関連する半導体メーカーのテスト投資が落ちたが、車載半導体向けなどの受注が伸び、前期を上回る

- ・ メモリ・テストは好調を維持

○ メカトロニクス関連事業

- ・ 前期比 41%増 108億円

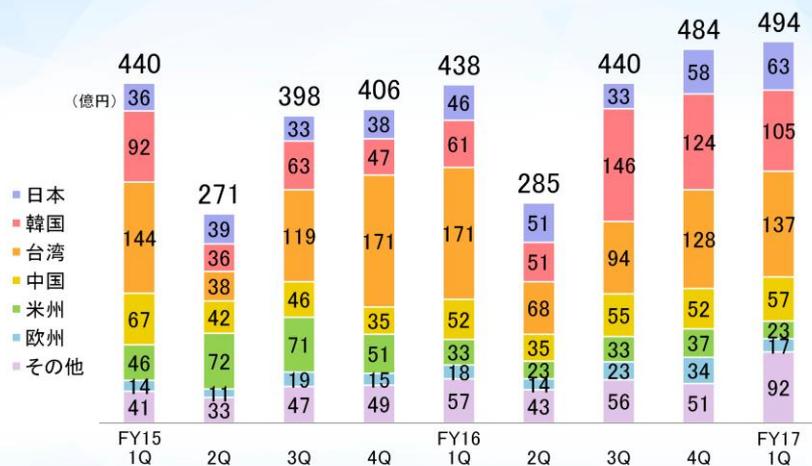
- ・ メモリ・テストとの需要連動で、デバイス・インタフェース中心に増加

○ サービス他

- ・ 前期比 37%減 70億円

- ・ 保守契約が前年度末に集中した反動減

四半期受注高 地域(出荷先)別



ADVANTEST.

2017/7/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

6

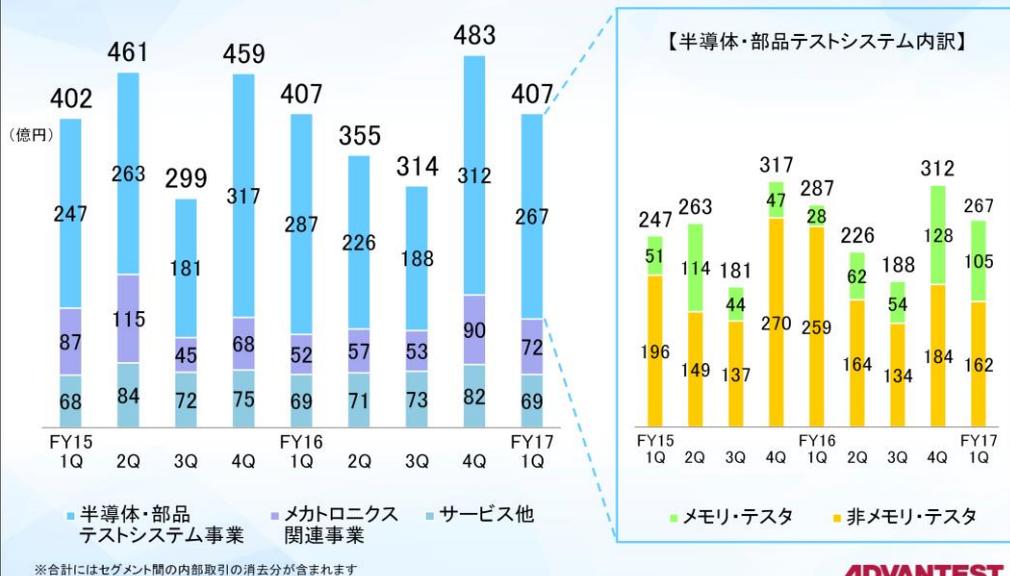
○ 2017年度第1四半期の地域別受注高

- 前期比で変動が大きかった地域

その他地域

東南アジア方面から、車載半導体向けの受注を獲得

四半期売上高 事業セグメント別



ADVANTEST.

2017/7/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

7

○ 2017年度第1四半期のセグメント別売上高

○ 半導体・部品テストシステム事業

- ・ 前期比 14%減 267億円
うち非メモリ・テスタ 162億円
メモリ・テスタ 105億円
- ・ 非メモリ・テスタが中国スマートフォン在庫調整の影響下、売上が伸び悩む
- ・ メモリ・テスタは、顧客の投資タイミングの兼ね合いからDRAM向けが一旦減少、NANDは前期並みの売上が持続した。DRAM向けは、2Qから再び伸びていく見通し

○ メカトロニクス関連事業

- ・ 前期比 20%減 72億円
- ・ ナノテクノロジー製品が減少
- ・ デバイス・インタフェース需要の伸びで、前年同期比ではプラス

○ サービス他

- ・ 前期比 17%減 69億円
- ・ SSDテスタ売上の一服などで前期比では下がったが、堅調な保守売上に支えられ、前年同期並みの着地

四半期売上高 地域(出荷先)別



ADVANTEST.

2017/7/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

8

○ 2017年度第1四半期の地域別売上高

- ・ 非メモリ・テストやメカトロニクスの前期末売上減により、どの地域も減少傾向
- ・ 前期比で減少が大きかった地域

韓国

スマートフォン関連需要の伸び悩みにより、非メモリ・テストが減少

これらの結果、海外売上比率 91.1%

売上高/売上総利益/営業利益



ADVANTEST.

2017/7/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

9

○ 2017年度第1四半期の営業利益

- 売上総利益
 前期比 48億円減 206億円
- 売上総利益率
 前期比 1.8ポイント悪化 50.6%
 売上高そのものの減少、および、ロジックIC向け非メモリ・テストの売上減少に伴う製品ミックス悪化によるもの。
 売上総利益率は1Qをボトムとし、今後改善していくと見込む
- 販管費等
 前期比 24億円減 184億円
 業績連動賞与引当金の減少などによるもの
- 営業利益
 前期比 24億円減 22億円
- 営業利益率
 前期比 4.0ポイント悪化 5.5%

研究開発費/設備投資/減価償却費



ADVANTEST.

2017/7/26

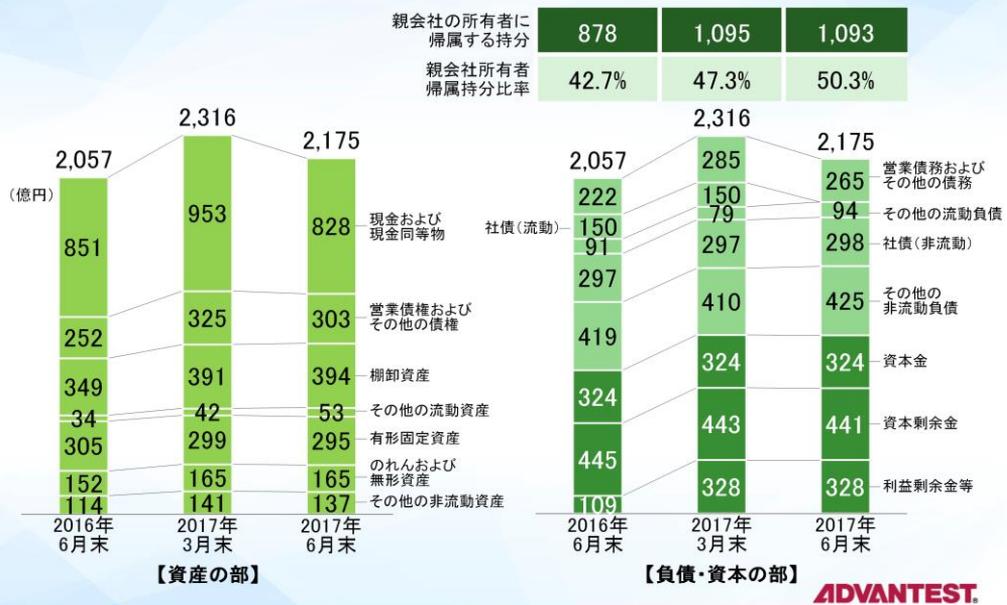
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

10

○ 2017年度第1四半期の研究開発費等

- 研究開発費 76億円
- 設備投資 7億円
- 減価償却費 12億円

連結財政状態



2017/7/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

11

○ 2017年6月末時点のバランス・シート

- 現金および現金同等物
前年度末比 125億円減 828億円
5月満期の普通社債 150億円を償還
- 親会社の所有者に帰属する持分 1,093億円
- 親会社所有者帰属持分比率
前年度末比 3.0ポイント増 50.3%

2017年度事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長
吉田 芳明

2017年度業績予想

	(億円)			
	2016年度 実績	2017年度 予想	前年度比 増減額	前年度比 増減率
受注高	1,647	1,750	+103	+6.3%
受注残	422	452	+30	+7.1%
売上高	1,559	1,720	+161	+10.3%
半導体・部品テストシステム事業	1,013	1,140	+127	+12.6%
メカトロニクス関連事業	252	270	+18	+7.2%
サービス他	295	310	+15	+5.1%
営業利益	139	180	+41	+29.4%
営業利益率	8.9%	10.5%	+1.6pts	
税引前利益	150	182	+32	+21.0%
当期利益	142	150	+8	+5.6%
当期利益率	9.1%	8.7%	-0.4pts	
為替レート	1米ドル	108円	110円	2円 円安
	1ユーロ	119円	120円	1円 円安

※売上高合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

ADVANTEST.

2017/7/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

13

○ 2017年度の業績予想について

- 1Q受注は期初の社内の想定を超える水準でした。事業環境の良さを裏付けるものと考えています。
- ただし、現時点では通期の業績先行きを見通し切れていないことから、通期の連結業績予想は

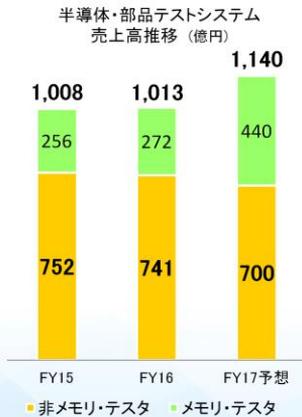
- 受注高 1,750億円
- 売上高 1,720億円
- 営業利益 180億円
- 当期利益 150億円

という、4月に公表した内容を据え置きます。

- 2Q以降は利益が伸び、通期予想を達成できると考えています。
- 為替前提も、4月の予想の前提とした1米ドル=110円、1ユーロ=120円を継続します。
- また受注が伸びている中、昨年度末から一部の製品の供給が追い付いていない状況が、残念ながら1Qも続いています。
- 4月にコメントしたとおり、9月をメドに、当面の製品需要に見合うレベルまで、製品供給能力を引き上げます。
生産フロア・人員など、キャパシティ面については当社の外注先も含め確保しており、今は調達リスクのある部材の確保を行っています。

17年度見通し（事業別）

■ 半導体・部品テストシステム



非メモリ・テスト事業

- ✓ スマートフォン在庫調整進展に沿い、下期からロジックIC向け需要は復調
- ✓ 車載、アナログIC、MCUで順調にビジネス拡大
- ✓ 有機ELドライバICのテスト需要が想定以上に伸びる可能性
- ✓ 2018年より、ロジックIC微細化の進展など事業機会の一層の広がりを見込む

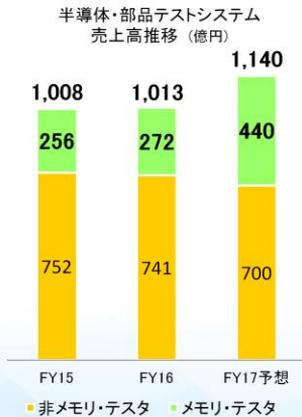
ADVANTEST.

○ 半導体・部品テストシステム事業の見通しについて

- まず非メモリ・テストです。
- 中国スマートフォンの在庫調整の影響で、ロジックIC向けテストの投資がスローダウンしていますが、1Q末から、顧客の稼働率は戻りつつあります。スマホ在庫の調整が完了し、スマホ新製品が販売開始されるこの下期には、当初の予想通りロジックIC向けの市場は復調していく見通しです。
- スマホ以外の分野は、すでに明るい状態です。
- MCU、アナログIC、車載半導体向けでは、順調な顧客拡大と、シェア拡大が続いています。
- また有機ELパネル関連で、テスト需要が事前の予想より伸びそうです。
- これら足元の状況から、非メモリ・テストの17年度の事業売上見通しを700億円へ、上方修正しました。
- 2018年以降の非メモリ・テスト市場には、ロジックICの微細化進展、AIやADAS関連市場の拡大、5Gの実用化など、テスト需要につながるイベントが目白押しです。成長機会をしっかりと取り込めるよう、取り組んでいきます。

17年度見通し（事業別）

■ 半導体・部品テストシステム



メモリ・テスト事業

- ✓ 3D NANDの能力増強投資を受け、NAND用テスト需要が伸長中
- ✓ DRAM向けでは、デバイス高速化に伴い、後工程用テストの安定的な投資を見込む
- ✓ 上記に加え、生産能力改善のため、古いDRAMテストの置き換え需要が具体化

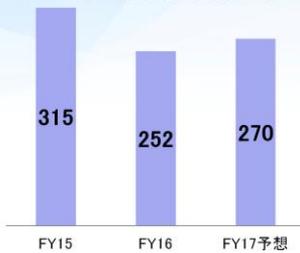
ADVANTEST.

○ 半導体・部品テストシステム事業の見通しについて

- 次にメモリ・テストについてです。
- NANDでは、ウエハテスト工程の増強や、3D NANDの信頼性を保証するためのバーインテストの強化が、年を通じて各メモリメーカーで進む見通しです。
- DRAMでは、サーバーやスマートフォンの高性能化を背景に、より高速でデータを読み書き可能な、DDR4高速・低消費電力バージョンの需要が増えています。
それに伴って、高速メモリテストの需要が通年底堅く続くと見込んでいます。
- またDRAMビジネスが活況であることから、メモリ大手メーカーでは、生産性改善のため古いDRAMテストをリプレースする動きが2Qからスタートします。
- これらの動きから、2Qからは、DRAM後工程向けの需要が増えていきます。そうした市場動向を受けて、今期のメモリテスト事業は、100億円を超える売上が毎四半期続く、と予想しています。

17年度見通し（事業別）

メカトロニクス関連 売上高推移（億円）



■ メカトロニクス関連

- ✓ メモリ・テスト需要の伸びに伴い、ハンドラ、インタフェース需要が増加

サービス他 売上高推移（億円）



■ サービス他

- ✓ 半導体市場の活況を背景としてフィールドサービス需要が堅調
- ✓ SSDテストの業容拡大施策を推進

ADVANTEST.

2017/7/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

16

○ メカトロニクス関連、サービス他事業の見通しについて

- メカトロニクス事業の今年度の売上予想は 270億円 です。
- デバイス・インタフェースとテスト・ハンドラが1Qに受注を伸ばしましたが、メモリ・テストの需要が今後も見込まれる中で、これらが今後も好調に売上推移する見通しです。
- ナノテクノロジー事業は、18年度以降の売上回復に向け、先端ノード向けの製品開発を進めています。
- サービス他事業の今年度の売上予想は 310億円 と、前回の見通しから若干引き下げています。
- このセグメントに含まれる中古テストのビジネスの見通しや、SSDテストの増収幅を修正したものです。